

令和8年度

病害虫発生予察情報

第9号

6 月月報

北海道病害虫防除所 令和8年(2026年)7月16日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－高気圧に覆われやすく多照。一方で発達した低気圧の通過により多雨。－

6月は、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は多かった。一方で、発達した低気圧が北海道付近を通過することが多かったため、日本海側と太平洋側の降水量は多かった。また、月平均気温は高かったが、上旬と下旬にオホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込む日もあって、気温の変動が大きかった。

上旬：高気圧に覆われる日もあったが、8日から9日にかけて発達した低気圧や湿った空気の影響でまとまった雨となったため、北海道地方の降水量は多く、日本海側とオホーツク海側でかなり多かった。暖かい空気に覆われやすく、気温は日本海側と太平洋側で高かったが、オホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込みやすかったオホーツク海側では平年並だった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北海道地方の降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

下旬：高気圧に覆われる日もあったが、発達した低気圧が北海道付近を通過することが多かったため、降水量は北海道地方で多く、太平洋側でかなり多かった。気温は日本海側では高かったが、オホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込みやすい日があったため、オホーツク海側と太平洋側で平年並だった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.1	高	124	多	119	多
日本海側10 地点平均	+1.2	高	128	多	121	多
オホーツク海側4 地点平均	+1.1	高	114	並	117	多
太平洋側8 地点平均	+0.9	高	125	多	117	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

Ⅱ. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） 並、（本田） -

予察田の「ななつぼし」及び「きらら397」における取り置き苗（接種）での初発期は、岩見沢市及び北斗市で平年並、比布町で平年よりやや早かった。本田での初発期は、比布町で平年より早く、北斗市で平年より遅かった。岩見沢市では初発を認めていない。

予察田におけるいもち病の発生状況

地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	ななつぼし	6月23日	6月23日	未発生	7月10日	10
比布町	ななつぼし	6月18日	6月22日	6月26日	7月12日	10
北斗市	きらら397	6月12日	6月11日	7月6日	6月30日	10
	ななつぼし	6月12日	-	7月4日	-	-

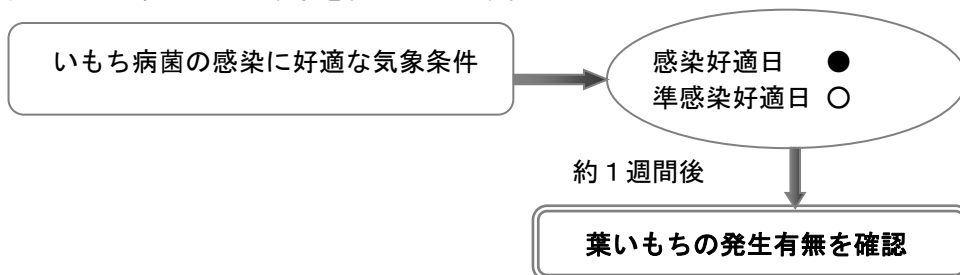
注) 各予察田の窒素施肥量は慣行栽培の5割増

注) -は平年値なし

葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(プラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内での葉いもちの観察を行いましょう。



BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 少

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は比布町で平年より少なかった。長沼町及び北斗市では捕獲されなかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.5	13.8	29.4	0	2.8
2半旬	0	0.2	0	27.0	0	1.3
3半旬	0	0	1.3	5.0	0	1.3
4半旬	0	0.3	0	2.0	0	0
5半旬	0	0	0	0.6	0	0.3
6半旬	0	0.4	0	1.5	0	0
平年数	10		10		10	

3. イネドロオイムシ 発生期 やや早 発生量 少

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年並、北斗市では平年よりやや遅かった。幼虫初発期は長沼町及び北斗市で平年よりやや早かった。比布町では産卵、幼虫の初発ともに認められていない。卵塊数並びに幼虫の発生量は長沼町及び北斗市で平年より少なかった。

一般田における6月3半旬の巡回調査では空知地方の5地点において卵塊が認められたものの、要防除水準（2卵塊/株）に達した地点はなかった。

予察田におけるイネドロオイムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6.Ⅱ	6.Ⅱ	－	6.Ⅳ	6.Ⅳ	6.Ⅲ
幼虫	6.Ⅲ	6.Ⅳ	－	6.Ⅵ	6.Ⅳ	6.Ⅴ
平年数	10		10		10	

予察田におけるイネドロオイムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)						幼虫数(25株あたり)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.7	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	7.8	0	0	0	0.8	0	2.1	0	0	0	0
3半旬	1	13.8	0	0.1	0	2.8	0	17.3	0	0	0	0.4
4半旬	0	17.1	0	0.6	0.5	4.6	0	36.4	0	0.3	1.5	1.9
5半旬	3	18.0	0	0.2	0	4.6	3	66.1	0	0.3	1.5	12.7
6半旬	4	19.0	0	0.6	0	2.4	28	81.6	0	0.8	4	32.4
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるイネドロオイムシの卵塊及び幼虫数(25株あたり)

普及 センター		地点 数	卵塊				幼虫	
			6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年	本年	前年
空知	本所	6	2.0	1.5	0	4.7	1.0	20.0
	南東部	2	1.0	0	1.0	0	1.5	0
	南西部	4	0.5	0	0	0	0	0
	中空知	4	0.3	0.5	0	0	0	1.8
	北空知	6	0.5	0.5	0	0.8	0.2	0.8
石狩	本所	2	0	0	0	0	0	0
	北部	7	0	0	0	0	0	0
後志	本所	4	0	0	0	0	0	0
胆振	東胆振	4	0	0	0	0	0	0

普及 センター		地点 数	卵塊				幼虫	
			6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年	本年	前年
日高	西部	2	0	0	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0	0	0
檜山	本所	2	0	0	0	0	0	0
	北部	2	0	0	0	0	0	0
上川	本所	7	0	0	0	0	0	0
	富良野	3	0	0	0	0	0	0
	大雪	3	0	0	0	0	0	0
	士別	2	0	0	0	0	0	0
	名寄	3	0	0	0	0	0	0
留萌	本所	5	0	0	0	0	0	0
	南留萌	2	0	0	0	0	0	0

4. 斑点米カメムシ類(第1回)

発生期 早 発生量 並

予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、アカヒゲホソミドリカスミカメ（以下アカヒゲ）は長沼町で平年よりやや早く、比布町では平年より早かった。北斗市では捕獲されなかった。アカスジカスミカメ（以下アカスジ）は北斗市で平年より早く初発が認められた。予察田におけるフェロモントラップによるアカヒゲの初発期は、比布町で平年より早く北斗市では平年よりやや早かった。長沼町では誘殺が認められなかった。

予察灯による成虫の誘殺数は、アカヒゲは長沼町及び北斗市で平年より少なかった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、長沼町で平年よりやや少なく、比布町では平年より多かった。アカスジは北斗市で平年より少なかった。予察田のフェロモントラップによるアカヒゲの誘殺数は、比布町及び北斗市で平年より多かった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では、畦畔すくい取りにおいて全71地点中、空知、石狩、檜山、上川、留萌地方の計14地点で捕獲が認められている。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数				畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	11	0.4	1	1.0	20.0	4.3	38.3	0	0	0
2半旬	0	3.2	0	2.3	2.5	6.9	10.0	10.3	0	0.8
3半旬	5	7.1	1	6.9	2.5	17.9	13.8	4.8	0	0.8
4半旬	0	20.9	0	2.6	5.0	7.5	3.3	4.5	0	3.5
5半旬	0	17.8	0	2.9	1.3	2.5	0	1.7	0	0.5
6半旬	4	11.8	1	7.7	0	4.9	1.7	0	0	0.5
初発期	6月2日	6月10日	6月2日	6月9日	6月1日	6月5日	6月1日	6月11日	—	6月9日
平年数	10		10		10		10		10	

アカスジカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数		畦畔すくい取り数	
	北斗市		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	0	0	0
2半旬	0	0.2	0	0
3半旬	0	1.5	0	1.4
4半旬	1	1.3	0	9.6
5半旬	0	4.0	2.5	2.5
6半旬	7	11.2	0	2.1
初発期	6月1日	7月1日	6月24日	7月8日
平年数	10		10	

予察田におけるアカヒゲホソミドリカスミカメのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	3	0	0	0
2半旬	0	0.5	0	0	0	0
3半旬	0	0.4	1	0.3	0	0.2
4半旬	0	2.2	2	0.8	5	1.8
5半旬	0	0.4	0	0.6	7	4.6
6半旬	0	0.4	1	1.2	13	4.4
初発期	—	6月15日	6月4日	6月19日	6月14日	6月19日
平年数	10		10		10	

巡回調査による斑点米カメムシ類成幼虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及 センター		地点 数	6月6半旬		普及 センター		地点 数	6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	6	0.2	1.2	日高	西部	2	0	0
	南東部	2	0	0	渡島	本所	1	0	0
	南西部	4	0.3	5.5	檜山	本所	2	0	0.5
	中空知	4	0.3	0.3		北部	2	7.5	1.5
	北空知	6	0	1.2	上川	本所	7	1.3	2.1
石狩	本所	2	0	0		富良野	3	0.3	0
	北部	7	1.9	0		大雪	3	0.3	0.3
後志	本所	4	0	0.3		士別	2	0	0
胆振	東胆振	4	0	0.5		名寄	3	1.0	5.3
					留萌	本所	5	1.6	0.3
						南留萌	2	0	1.5

5. フタオビコヤガ(第1回) 発生量 やや少

予察田において、第1回幼虫の発生量及び被害株率は長沼町で平年並だった。比布町では発生及び被害が認められなかった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)				被害株率(%)			
	長沼町		比布町		長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0.4
3半旬	0	0.7	0	0.1	0	0.7	0	0.8
4半旬	1	0.9	0	0	8.0	5.3	0	2.4
5半旬	0	0.7	0	0	12.0	12.0	0	2.4
6半旬	1	0.4	0	0	20.0	13.7	0	2.8
平年数	10		10		6		10	

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生量 多

予察ほの「きたほなみ」における発生量は、長沼町、芽室町及び訓子府町のいずれの地点でも平年より多かった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では檜山、上川およびオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	22.4	5.5	31.1	16.1	－	23.3	10
		最上位葉	13.1	1.3	46.4	8.6	－	15.3	
		最上-1葉	28.6	5.6	38.5	16.2	－	31.5	
芽室町	きたほなみ	全葉	3.7	0.2	15.4	1.7	30.9	4.7	10
		最上位葉	0.4	0.0	2.79	0.2	37.4	2.8	
		最上-1葉	1.0	0.1	12.0	1.0	25.7	5.1	
訓子府町	きたほなみ	全葉	5.5	0.1	52.5	1.1	65.7	7.0	10
		最上位葉	0.2	0.0	5.7	0.2	19.4	2.9	
		最上-1葉	0.6	0.0	11.7	0.4	22.9	4.3	

注) — : 調査不能

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			6月3半旬	
			本年	前年
空知	本所	4	-	-
	南東部	2	-	-
	南西部	4	-	-
	北空知	5	-	-
石狩	本所	3	0	1.0
	北部	6	0	0
後志	本所	3	0	0
胆振	本所	3	0	-
	東胆振	4	0	-
檜山	本所	2	-	-
	北部	2	15.0	42.0
上川	本所	4	0	2.0
	富良野	3	0.7	2.7
	大雪	1	0	0
	士別	4	0	5.0
	名寄	3	-	13.3

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			6月3半旬	
			本年	前年
留萌	本所	3	0	0
網走	本所	8	0	0
	清里	6	0	0
	網走	2	0	0
	美幌	5	0	0
	遠軽	10	1.2	0
	紋別	4	0	0
十勝	本所	7	-	-
	東部	8	-	-
	東北部	2	-	-
	北部	3	-	-
	西部	3	0	-
	南部	7	-	-

注1) ー:調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

注1) — : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

2. うどんこ病 発生量 少

予察ほの「きたほなみ」における発生量は、長沼町では平年よりやや少なく、芽室町及び訓子府町では平年より少なかった。

一般ほにおける6月3半旬の巡回調査報告によると、オホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.15	0.24	0.06	0.26	－	0.10	10
		最上位葉	0.16	0.00	0	0.01	－	0.03	
		最上-1葉	0.18	0.07	0.03	0.13	－	0.23	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.04	0	0.00	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.01	0.03	0	0.05	0	0.00	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.02	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.01	0	0.01	

注) —: 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			6月3半旬	
			本年	前年
空知	本所	4	—	—
	南東部	2	—	—
	南西部	4	—	—
	北空知	5	—	—
石狩	本所	3	0	1.7
	北部	6	0	0
後志	本所	3	0	0
胆振	本所	3	0	—
	東胆振	4	0	—
檜山	本所	2	—	—
	北部	2	0	0
上川	本所	4	0	0
	富良野	3	0	0
	大雪	1	0	0
	士別	4	0	6.3
	名寄	3	—	0

普及センター		地点数	病葉率(%)	
			6月3半旬	
			本年	前年
留萌	本所	3	0	0
網走	本所	8	0	0
	清里	6	0.2	0
	網走	2	2.0	0
	美幌	5	0	0
	遠軽	10	0	0
	紋別	4	0	0
十勝	本所	7	—	—
	東部	8	—	—
	東北部	2	—	—
	北部	3	—	—
	西部	3	0	—
	南部	7	—	—

注1) —: 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

3. アブラムシ類 発生期 早 発生量 並

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町では平年並だった。ムギクビレアブラムシの初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早かった。

ムギヒゲナガアブラムシの発生量は、長沼町で平年より少なく、訓子府町では平年並だった。ムギクビレアブラムシの発生量は、長沼町で平年より多く、訓子府町では平年より少なかった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.4	0	0.3	0	0.1	3	11.2
3半旬	1.0	0.8	0	6.7	18	0.1	0	9.0
4半旬	0	1.5	0.5	8.5	0	0.7	0	3.1
5半旬	0	1.4	7.5	8.2	0	0.5	0	6.2
6半旬	0	1.7	11.5	5.3	0	0.2	0	10.6
初発期	6.III	6.IV	6.IV	6.IV	6.I	6.V	6.I	6.IV
平年数	10		10		10		10	

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生量 並

予察ほにおける成虫すくい取り数は長沼町で平年よりやや多く、比布町では平年より少なかった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	192.5	92.7	211.7	293.3
2半旬	10.0	50.8	215.0	485.8
3半旬	18.8	37.6	82.5	200.2
4半旬	2.5	9.4	18.3	62.5
5半旬	0	5.3	40.0	31.1
6半旬	-	3.8	71.7	32.4
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. とうもろこし

1. オオタバコガ 発生期 早 発生量 多 <6月22日付け注意報第2号>

フェロモントラップによる成虫の初誘殺は、長沼町及び比布町で平年より早く、北斗市では平年より遅かった。芽室町及び訓子府町では誘殺が認められなかった。

誘殺数は長沼町及び比布町で平年より多く、北斗市では平年並であった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	4	0.2	1	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	2	0.4	2	0.3	0	0.1	0	0	0	0
3半旬	10	0.9	1	0.6	0	0.1	0	0	0	0
4半旬	24	2.0	0	0.3	1	0	0	0	0	0
5半旬	16	2.1	0	0.3	0	0	0	0	0	0
6半旬	12	0.4	1	0.1	0	0.4	0	0	0	0
初発期	5月18日	6月16日	5月12日	6月4日	6月20日	5月31日	-	-	-	-
平年数	10		10		10		9		9	

E. 豆類

1. タネバエ (大豆) 発生量 多

予察ほの大豆における被害個体率は、いずれの地点も平年より高かった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	81.3	60.8	33.0	16.1	50.7	22.7
健全個体率	10.0	31.8	62.0	79.4	46.7	72.1
他不出芽	8.7	7.4	5.0	4.5	2.6	5.3
平年数	10		9		10	

注) 他不出芽: タネバエ被害以外の不出芽を示す

2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 早 発生量 並

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町で平年よりやや遅く、芽室町及び訓子府町では平年より早かった。

黄色水盤による捕獲数は、長沼町で平年よりやや少なく、芽室町で平年よりやや多く、訓子府町では平年より少なかった。

予察ほの大豆における寄生虫数は、長沼町で平年よりやや多く、芽室町で平年並、訓子府町では平年より少なかった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2.3	0.6	1	0	1	0.6
2半旬	0.7	2.4	0	0.2	0	2.0
3半旬	2	1.8	2	0.1	0	0.7
4半旬	0	1.7	0	0	0	0.3
5半旬	0	1.3	0	0	0	0.9
6半旬	0	0.7	0	0	0	1.3
初発期	6. I	5. VI	5. IV	6. III	5. VI	6. II
平年数	10		10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	3.5	1.5	-	-	0	0.8
2半旬	2.5	3.7	0	0	0	5.6
3半旬	14	3.8	0	0	0	1.3
4半旬	5	5.7	3	2.0	1	2.6
5半旬	2	4.2	0	1.2	2	2.9
6半旬	2	1.5	0	1.1	4.5	2.0
平年数	10		10		10	

注1) 25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

注2) -: 未発芽

3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 やや早 発生量 やや多

予察ほにおける初発期は、長沼町で平年より早く、芽室町及び訓子府町では平年よりやや早かった。
寄生株率は長沼町及び芽室町で平年よりやや高く、訓子府町では平年並だった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	4	0	0	0.1	0	0
3半旬	20	4.6	4	0.3	0	0.4
4半旬	20	15.9	20	2.5	0	0.4
5半旬	24	16.0	12	9.1	4	1.2
6半旬	12	12.2	20	20.3	0	2.8
初発期	6.II	6.IV	6.III	6.IV	6.V	6.VI
平年数	10		10		10	

F. ばれいしょ

1. 疫病 発生期 —

予察ほの「とうや」において、長沼町、北斗市、芽室町及び訓子府町のいずれの地点においても発生を認めていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、発生が認められなかった。

予察ほにおける疫病の初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	未発生	7月19日	8
	スノーマーチ	未発生	7月20日	8
北斗市	とうや	未発生	7月6日	10
芽室町	とうや	未発生	7月13日	10
	スノーマーチ	未発生	7月15日	10
訓子府町	とうや	未発生	7月14日	8
	スノーマーチ	未発生	7月17日	8

一般ほにおける疫病の巡回調査結果

普及センター		調査 地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬	
			本年	前年
空知	南東部	1	0	0
後志	本所	4	0	0
胆振	本所	2	0	0
渡島	本所	1	0	0
檜山	本所	2	0	0
	北部	2	0	0
上川	富良野	2	0	0
	大雪	2	0	0.5
	士別	2	0	0
	名寄	1	0	0

普及センター		調査 地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬	
			本年	前年
網走	本所	7	0	0
	清里	6	0	0
	網走	2	0	0
	美幌	2	0	0
十勝	本所	5	0	0
	東部	7	0	0
	東北部	2	0	0
	北部	3	0	0
	西部	2	0	0
	南部	7	0	0
釧路	本所	2	0	0
根室	北根室	1	0	0

2. アブラムシ類 発生量 並

予察ほにおけるアブラムシ類の発生量は、ジャガイモヒゲナガアブラムシは長沼町で平年よりやや多く、芽室町及び訓子府町では平年並であった。モモアカアブラムシは長沼町で平年よりやや多かった。芽室町及び訓子府町では発生が認められなかった。ワタアブラムシは、長沼町で平年より多く、訓子府町では平年より少なかった。芽室町では発生が認められなかった。

6月6半旬の巡回調査では、全65地点中5地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						モモアカアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	0	1	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	2	0.4	0.5	0.1	0	0.3	2	0.1	0	0	0	0
3半旬	2	1.9	0	0.3	0	0.6	0	0	0	0	0	0
4半旬	2.5	1.5	0.5	0.1	3.1	1.2	0	0	0	0	0	0
5半旬	0	0.9	0	0.4	1.6	2.3	0.5	0.4	0	0	0	0
6半旬	1	0.5	0	1.2	1.6	2.5	0	0.2	0	0	0	0.3
平年数	10		10		10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	4.5	0	0	0	0	0
2半旬	2.5	0	0	0	0	0
3半旬	5.5	0.9	0	0	0	0
4半旬	18.5	1.0	0	0.1	0	0.2
5半旬	5.5	1.4	0	0.4	0.8	0.3
6半旬	2	1.3	0	0.3	0	2.9
平年数	10		10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしょのアブラムシ類寄生虫数

普及センター		地点数	6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
空知	南東部	1	0	2.0	0	0
後志	本所	4	0	0	0	0.3
胆振	本所	2	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	3.0	2.0
檜山	本所	2	0	0	0	1.0
	北部	2	0	0	0	0
上川	富良野	2	0	0	0	0
	大雪	2	0	0	0	0
	士別	2	0	0	0	2.0
	名寄	1	0	0	0	0
網走	本所	7	0.1	0	0.1	0.3
	清里	6	0	0	0.2	0.3
	網走	2	0	0	0.5	0
	美幌	2	0	0	0	0
十勝	本所	5	0	0	0	0
	東部	7	1.0	0.1	0.1	0
	東北部	2	0	0	0	0
	北部	3	0	0	0	2.3
	西部	2	0	0	0	0
	南部	7	0	0	0	0.4
釧路	本所	2	0	0	0	0
根室	北根室	1	0	0	0	0

注) 10株20複葉調査

G. てんさい

1. 褐斑病 発生期 早

予察ほの抵抗性“やや強”品種「ライエン」における初発期は、長沼町及び訓子府町では平年より早く、芽室町では平年並だった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	ライエン(やや強)	6月30日	7月6日	10
	カーベ2K314(強)	7月13日	-	-
芽室町	あまいぶき(弱)	6月25日	7月1日	10
	ライエン(やや強)	6月29日	7月1日	10
	スタウト(強)	6月25日	7月2日	10
訓子府町	ライエン(やや強)	6月30日	7月10日	10
	カーベ2K314(強)	7月7日	-	-

注) -は平年値なし

2. ヨトウガ(第1回) 発生期 やや遅 発生量 並

予察ほにおける産卵の初発期は、訓子府町で平年よりやや遅かった。長沼町及び芽室町では産卵は認められなかった。

食害程度は長沼町では平年並、芽室町及び訓子府町では平年より高かった。

巡回調査では要防除水準(被害株率 50%)を超える発生は認められなかった。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.1	0	0	0	0	2.5	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.5	0	0	0	0.2	9	0	0	0
3半旬	0	1.8	0	0.5	0	0.1	1	0.6	9.5	0.3	0	0
4半旬	0	1.7	0	0.5	0	0.3	3	3.2	10.5	0.7	0	0
5半旬	0	1.0	0	0.2	0	0	5	7.7	12.5	3.6	3	0.5
6半旬	0	0.6	0	0.1	0	0.2	12	14.8	15.5	8.4	16	1.5
初発期	-	6.III	-	6.II	6.V	6.IV						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及 センター		地点 数	6月6半旬		普及 センター		地点 数	6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	18.0	網走	本所	9	1.6	16.9
石狩	本所	3	17.0	8.0		清里	5	6.0	28.3
後志	本所	3	14.0	11.3		網走	2	4.0	13.0
胆振	本所	4	0	0		美幌	6	0.7	2.0
	東胆振	2	0	11.3		遠軽	4	8.5	17.3
上川	富良野	2	9.0	1.0	十勝	本所	5	9.0	2.0
	大雪	2	0	0		東部	6	0	19.0
	士別	2	10.0	41.8		東北部	2	0	19.0
	名寄	1	0	10.0		北部	3	0	8.7
						西部	3	7.7	16.7
						南部	7	6.3	1.7

注)50株調査

3. テンサイトビハムシ 発生量 並

予察ほにおける食害程度は、長沼町及び芽室町では平年並、訓子府町では平年よりやや高かった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	25	26.9	17	15.9	25	21.8
2半旬	25	26.9	17	14.8	28	23.9
平年数	10		10		9	

H. たまねぎ

1. 白斑葉枯病 発生期 早 発生量 並

予察ほにおける初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町で平年より早かった。6月6半旬における発生量は、長沼町及び訓子府町で平年並であった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、空知及び十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月12日	6月15日	0	0	2.0	6.1	19.0	19.4	10
訓子府町	北もみじ2000	6月19日	6月28日	0	0	0	0	1.5	1.2	10

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査 地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬	
			本年	前年
空知	本所	4	2.0	0.4
	南東部	3	0	0
	南西部	3	22.7	0
	中空知	1	0	0
石狩	北部	2	0	0
上川	富良野	4	0	0
	大雪	1	0	0
	士別	2	0	0

普及センター		調査 地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬	
			本年	前年
網走	本所	8	0	0
	清里	2	0	0
	美幌	4	0	0
	遠軽	1	0	0
十勝	本所	1	0	0
	東部	2	9.0	6.5

2. ネギアザミウマ 発生期 やや早 発生量 やや少

予察ほにおける成虫の初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町では平年並であった。幼虫の初発期は、長沼町で平年よりやや遅く、訓子府町で平年より早かった。被害の初発期は、長沼町で平年よりやや早く、訓子府町では平年並であった。

寄生成虫数及び幼虫数は、長沼町で平年より少なく、訓子府町では平年並であった。被害程度は、両地点とも平年よりやや低かった。

巡回調査では、寄生株率 50%以上の地点は全 38 地点中、空知及びオホーツク地方の 2 地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	5	3.5	16	17.6	0	0.3	4	0.5	3	1.9	15	9.1
2半旬	2.8	6.8	2	23.5	0	1.8	1	4.5	3.5	5.5	24	15.5
3半旬	5.3	17.6	34	51.3	3.8	13.5	43	31.2	7.8	12.0	25	23.8
4半旬	7.8	21.5	64	53.8	7.8	73.6	556	224.9	13	19.4	28	35.5
5半旬	13	27.4	62	46.6	29	194.3	558	542.5	19.5	23.9	35	44.4
6半旬	22	47.9	105	45.7	31	213.3	608	968.5	24	30.2	46	54.9
初発期	5.VI	6. I	5.VI	5.VI	6.III	6. II	6. I	6.III	5.VI	6. I	6. I	6. I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及 センター		地点 数	6月6半旬	
			本年	前年
空知	本所	4	27.0	7.4
	南東部	3	16.0	64.0
	南西部	3	0	6.7
	中空知	1	0	4.0
石狩	北部	2	12.5	12.0

注)25株調査

普及 センター		地点 数	6月6半旬	
			本年	前年
上川	富良野	4	2.0	31.0
	大雪	1	5.0	5.0
	士別	2	4.0	70.0
網走	本所	8	9.3	17.5
	清里	2	64.0	52.0
	美幌	4	12.0	3.0
	遠軽	1	14.0	23.0
十勝	本所	1	20.0	50.0
	東部	2	22.0	8.0

注) 25株調査

I. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 多

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年より多く、北斗市では平年よりやや多かった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	13	3.8	10.4	17.0
2半旬	10	8.8	10	16.9
3半旬	4	9.6	11.6	18.1
4半旬	5	10.3	28	18.2
5半旬	17	5.1	31.6	15.7
6半旬	58	6.8	31.6	16.8
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 やや少

フェロモントラップによる誘殺数は、いずれの地点も平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町及び北斗市で平年よりやや少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	12	15.6	17	26.2	14.5	31.3	0	9.3	2	6.6
2半旬	7	20.9	11	31.9	2.5	32.3	1	4.7	0	7.1
3半旬	8	34.0	23	21.9	10	24.4	6	5.1	4	6.0
4半旬	25	29.8	8	18.6	14	27.7	1	2.7	3	6.3
5半旬	10	27.0	1	11.9	8	27.0	4	3.6	1	3.8
6半旬	24	43.7	2	16.6	46	62.4	0	3.9	0	4.1
平年数	10		10		10		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	19	2.6	0.4	1.7
2半旬	18	7.6	2.8	4.8
3半旬	20	21.4	14	9.4
4半旬	21	49.3	18.8	18.0
5半旬	61	143.4	12.8	28.6
6半旬	106	181.2	9.2	26.6
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

J. りんご

1. モニリア病 発生量 少

長沼町の予察園（無防除）「相伝ふじ」（早生ふじ系）及び余市町の予察園（慣行防除）「昂林」では、モニリア病の発生は認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園（長沼町）におけるモニリア病の発生状況

品種名	相伝ふじ			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
調査時期	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	0		
落花20日後			0	0

予察園（余市町）におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	0
		6月2週目	0	0
		6月3週目	0	0

注1) 予察園（余市町）は慣行の防除を実施している。

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		調査 地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

2. 黒星病 発生期 やや遅 発生量 少

長沼町の予察園（無防除）「相伝ふじ」における初発期は平年よりやや遅かった。余市町の予察園（慣行防除）「昂林」では発生を認めていない。発生量は、長沼町の予察園では平年より少なかった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	5月30日	5月26日	9
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園（長沼町）における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	1.7	8.7	2.0	17.7	9.2	30.4	18.2	37.9	21.1	47.0	21.1	55.5

予察園（余市町）における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 余市町の予察園は慣行防除

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査 地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

3. 斑点落葉病 発生期 早 発生量 やや少

長沼町の予察園（無防除）の「王林」での初発期は平年より早かった。発生量は、平年よりやや少なかった。余市町の予察園（慣行防除）の「昂林」での発生は、確認されていない。

予察園における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	6月11日	6月26日	10
余市町	昂林	未発生	-	-

注) -は平年値なし

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0.07	0	0.24	0.60	0.53	0.80	10

予察園(余市町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)										平年数
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

4. ハマキムシ類 発生期 早 発生量 並

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、長沼町（無防除）で平年よりやや早く、余市町A及びB（いずれも慣行防除）では平年より早かった。リンゴモンハマキの初誘殺日は、長沼町で平年よりやや早かった。余市町A及びBでは誘殺が認められなかった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは長沼町で平年より少なく、余市町Aで平年より多く、余市町Bでは平年並だった。リンゴモンハマキは長沼町で平年よりやや少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは札幌市で平年より多く、七飯町では平年並、増毛町では平年よりやや少なかった。石狩市では誘殺が認められなかった。リンゴモンハマキは札幌市で平年より多く、七飯町では平年より少なかった。石狩市及び増毛町では誘殺が認められなかった。

予察園におけるハマキムシ類のフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	リンゴコカクモンハマキ						リンゴモンハマキ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0.6	0.0	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0.2
2半旬	0	0.2	1.4	0.4	0.7	0.2	0	0	0	2.3	0	2.5
3半旬	5	3.8	7.1	1.8	4.3	1.0	4	1.4	0	2.7	0	3.0
4半旬	7	8.9	2.9	2.0	2.7	1.6	9	9.1	0	3.2	0	1.3
5半旬	1	9.4	1.4	1.6	1.0	2.3	3	12.2	0	1.2	0	0.7
6半旬	1	6.5	3.6	0.5	0	1.0	2	9.3	0	0.3	0	0.5
初誘殺日	6月12日	6月16日	6月10日	6月17日	6月10日	6月21日	6月12日	6月15日	-	6月10日	-	6月6日
平年数	10		10		10		6		6		6	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	3.3	0.6	0	0	0.5	0.1	0	0.3
3半旬	16.4	2.7	0	0.5	1.3	1.7	0.6	1.8
4半旬	8.4	4.7	0	1.5	4.8	5.1	2.9	1.8
5半旬	4.7	4.6	0	0.7	5.8	5.6	0.6	1.8
6半旬	2.1	3.7	0	0.7	5.4	3.8	0	2.6
平年数	10		10		10		10	

一般園におけるリンゴモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0.1
2半旬	4.4	0	0	0.2	0	0.0	0	0.5
3半旬	22.1	0	0	0.7	0	0.1	0	1.1
4半旬	7.3	0.3	0	0.1	0	1.0	0	0.9
5半旬	2.1	0.7	0	0.4	0.7	1.3	0	0.2
6半旬	0	1.9	0	0.1	1.6	2.1	0	0.0
平年数	6		6		6		6	

5. モモシンクイガ 発生期 並 発生量 やや多

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、長沼町（無防除）で平年よりやや早く、余市町A（慣行防除）で平年並、余市町B（慣行防除）では平年よりやや遅かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は長沼町及び余市町Bで平年よりやや多く、余市町Aでは平年より多かった。

長沼町における産卵初発期は6月25日（平年：6月29日）と平年よりやや早かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は札幌市で平年並だった。七飯町及び増毛町では誘殺が認められなかった。

予察園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0.2
2半旬	0	0.1	0	0.2	0	0.8
3半旬	10	2.4	5.0	1.2	10.0	2.6
4半旬	16.3	6.3	8.0	2.8	19.0	13.3
5半旬	13.7	18.1	10.9	3.9	26.7	20.2
6半旬	50	28.1	12.1	5.2	29.3	18.4
初誘殺日	6月11日	6月15日	6月17日	6月15日	6月14日	6月11日
平年数	10		10		10	

注）余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0
2半旬	0	0.3	0	0.0	0	0
3半旬	0	0.9	0	0.2	0	0
4半旬	6.9	4.0	0	0.1	0	0
5半旬	12.6	7.6	0	0.5	0	0.0
6半旬	18.6	16.0	0	1.1	0	0.1
平年数	10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 並

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、いずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	0
6半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平年数	5		10		10		5		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 並

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、長沼町（無防除）で平年より多く、余市町A及びB（いずれも慣行防除）では平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、七飯町で平年より多く、増毛町では平年より少なかった。札幌市及び石狩市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.3	0	0.3
2半旬	0	0.2	0	0.2	0	0.5
3半旬	9	0.1	0	1.6	0	1.9
4半旬	33.3	0.7	1	6.5	4.5	16.2
5半旬	21.7	4.0	1.3	13.1	5.4	24.6
6半旬	27	2.6	0.7	25.6	2.1	30.9
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	1.3	0.2	0	1.8
2半旬	0	0	0	0.2	55.3	0.1	0	0.2
3半旬	0	0	0	0	136.3	0.2	0.1	0.9
4半旬	0	0.1	0	0.0	163.8	1.3	0.7	9.2
5半旬	0	0.2	0	3.8	138.4	1.3	3.3	64.3
6半旬	0	0.2	0	6.3	107.4	3.2	3.9	108.2
平年数	10		10		10		10	

令和 8 年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

農薬ラベルに記載されている
安全使用上の注意または
被害防止方法を確認しましょう

作物名	農薬 登録名	登録 回数	使用 濃度	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	AE及び 農薬の 使用回数	被害防止 方法
稲	コブノミイダ	1000回	60～ 150 L/10a	収穫 21 日前 まで	3回 以内	散布	3回 以内	使用時： 農薬の 使用回数 を確認
	アマダロコ バク ンクン イネ イネ イネ	1000回～ 2000回						
	カメムシ	2000回						

OK?

その装備、準備バッチリ？

農薬散布時は、薬剤の直接付着や吸い込みを防ぐため、
適切な防護装備を着用することが重要です。

- ✓保護メガネ
- ✓農薬用マスク
- ✓不浸透性防除衣
- ✓不浸透性手袋
- ✓長靴

使用後は直ちに着替え、衣服を洗濯し、手洗い・うがい・入浴を徹底してください。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisel/

農薬の適正使用 農林水産省

検索



令和 8 年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

北海道

令和 8 年 6 月 1 日～8 月 3 1 日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課

(TEL 011-231-4111 (内線) 27-838)

北海道病害虫防除所

(TEL 0123-89-2080)

各総合振興局・振興局農務課